

年度 2007 学期 前期	曜日・校時	月 2	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーションⅢ English Communication Ⅲ					
対象年次 2 年次	講義形態	演習	教室			
対象学生(クラス等)	2Td	科目分類	外国語科目(英語)			
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 香川実成/Eメールアドレス: jissei@kwassui.ac.jp/研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー: 通勤日(月曜日) 12:00～12:50						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法) /授業到達目標 授業のねらい: 平易な英語による日常的・実践的な会話練習を通して、スピーキング・スキル、リスニング・スキル、その基礎となるレスポンス判断等を向上させます。スピーキングを瞬間口語英作文と捉えれば、ライティング・スキル、及び基礎語彙の正しいスペリング習得の場ともなります。エクストラとして不定期に TOEIC のリスニング問題を課す予定。 授業方法: 演習形式でおこないます。単なるリスニングに終始するのではなく、ペア・ワーク等を通じて実際に正しい発音で音声化することを心がけます。 授業到達目標: 国内外で英語話者と遭遇した場合に、冷静に基本的な情報交換がはかれる程度の英語コミュニケーション能力を身につけることを目標とします。質問に対して適切な回答を選択することは、TOEIC リスニング・セクション、特に Parts Ⅱ・Ⅲの要であり、そういう意味で TOEIC リスニング・セクションのスコア・アップ(セクションの満点 495 点の半分以上が目安)につながることを期待します。						
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 下記予定表に従って、決められた範囲の予習が必要です。使用予定のテキストには CD が完備されているので、予習段階で最低 1 回は聴いておくこと。授業ではクラス・ワーク、ペア・ワークによる音声化を重視します。 第1回 Unit 1: Greetings & Introductions (挨拶の英語) 第2回 Unit 2: Up in the Air (飛行機内での会話) 第3回 Unit 3: At the Airport ～ Part 1 (空港での会話) 第4回 Unit 4: At the Airport ～ Part 2 (空港での会話) 第5回 Unit 5: Hotel Life ～ Part 1 (ホテル内での会話) 第6回 Unit 6: Hotel Life ～ Part 2 (ホテル内での会話) 第7回 Unit 7: Money Matters (銀行、両替所での会話) 第8回 Unit 8: Mail Service (郵便局での会話) 第9回 Unit 9: Eating at a Restaurant (レストランでの会話) 第10回 Unit 10: Fast Food, Anyone? (ファストフード・レストランでの会話) 第11回 Unit 11: Going for a Drive (レンタカーを借りる時の英語) 第12回 Unit 12: Time to Shop (ショッピング先での会話) 第13回 Unit 13: Looking Around (観光途中で会話) 第14回 Units 14 & 15: Feeling Ill / Need Help? (病気その他で困った時の英語) 第15回 定期試験						
キーワード						
教科書・教材・参考書	『海外旅行で英語を使おう! (Have a Nice Trip!)』(松柏社、¥1,900) その他、TOEIC リスニング教材					
成績評価の方法・基準等	授業・活動への積極的な参加状況: 40% TOEIC 小テスト課題: 30% 定期試験: 30% 等を総合的に判断する。					
受講要件(履修条件)						
本科目の位置づけ /学習・教育目標						
備考(準備学習等)						

